

3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容		問題番号	出題のねらい	評価の観点	通過率 (%)	備考	
3・4年 〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項 イ	一	A	話し手の伝えたいことの内容を聞き取っている。	知・技	85		
		B		知・技	81		
3・4年 〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項 イ	1	二	必要な情報は何かということに気を付けながら、書き留め方の工夫について当てはまらないものを指摘している。	知・技	78		
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと(1)エ		三	話の中心に気を付けて聞き、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問している。	思・判・表	80	○	
3・4年 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 エ	一	(1)	①	学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	知・技	78	
			②		知・技	94	
3・4年 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 エ	二	(2)	③	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	知・技	64	
			④		知・技	59	
3・4年 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 オ	2	(3)	対義語について、本文を根拠に正しく書いている。	知・技	77		
3・4年 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ウ	二	(1)	(1)	簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読んでいる。	知・技	92	
			(2)	簡単な単語について、ローマ字で書いている。	知・技	83	
			(3)		知・技	73	
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと(1)ウ	3		自分の考えと、それを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して書いている。	思・判・表	62	○	
3・4年 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 カ	一	①	①	段落相互の関係をつかんで、接続語の役割を正しく指摘している。	知・技	84	
			②		知・技	72	
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)ウ	二	A	A	目的に応じて、中心となる語や文を見つけて指摘している。	思・判・表	82	
			B		思・判・表	64	
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)ア	4	三	段落の関係に注目しながら、考えとそれを支える事例の関係を捉えている。	思・判・表	78		
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)ア		四	段落相互の関係に着目しながら読み、書き手の考えとそれを支える理由や事例について、叙述を基に正しく捉えている。	思・判・表	70		
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)イ	一	①	①	会話文や地の文から関連的に捉えて、登場人物を指摘している。	思・判・表	85	
			②		思・判・表	85	
			③		思・判・表	85	
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)イ	二	A	A	対比する2つの言葉について、文脈を基に、当てはまる言葉を指摘している。	思・判・表	78	
			B		思・判・表	64	○
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)イ	5	(1)	登場人物の気持ちについて、複数の叙述を基に捉えて、当てはまる言葉を指摘している。	思・判・表	84		
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)エ	三	①	①	情景描写の説明と本文の読み取りを根拠に情景描写の一文を指摘している。	思・判・表	22	
			②	登場人物の気持ちについて情景描写を基に想像し、根拠、理由を明らかにして自分の考えをまとめている。	思・判・表	14	○
3・4年 〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)エオ		②		思・判・表		○	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	79	68

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		備考	東青管内			西北管内				
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
①	一	A	話の中心の聞き取り		87	87	92	84	81	90	83
		B			82	82	78	83	82	87	82
	二	書き留め方の工夫		80	80	76	77	77	77	75	
	三	聞いた事柄を基にした質問の仕方	○	80	80	77	79	80	78	80	
②	一	(1)	①「今朝」の読み方		86	87	83	80	83	87	73
			②「真っ青」の読み方		96	96	96	94	94	96	94
		(2)	③「きょうそう」の書き方		67	67	62	57	59	58	56
			④「いがい」の書き方		70	69	73	43	42	52	40
	(3)	対義語の指摘		79	79	81	77	74	84	76	
	二	(1)	ローマ字の読み方(hirame)		97	98	90	92	93	95	89
		(2)	ローマ字の書き方(まぐろ)		93	94	83	80	85	88	70
(3)		ローマ字の書き方(ほっけ)		84	85	74	71	75	80	62	
③		条件に応じた表現	○	65	65	61	60	57	68	59	
④	一	①	接続語の指摘		85	85	84	87	86	90	86
		②			74	74	75	76	77	82	72
	二	A	中心となる語の指摘		83	84	79	86	84	89	86
		B			66	66	72	64	68	64	60
	三	段落相互の関係の把握		78	78	73	80	80	81	79	
	四	書き手の考えと理由や事例の把握		71	72	70	70	69	72	69	
⑤	一	①	叙述を基にした人物の指摘		87	87	87	87	86	87	89
		②			88	89	83	88	87	87	88
		③			87	87	81	87	87	90	83
	二	A	叙述を基にした語の指摘		80	80	73	80	79	80	81
		B		○	65	65	63	65	69	66	61
	三	(1)	叙述を基にした登場人物の心情の把握		85	86	82	86	86	89	83
		(2)	① 情景描写の指摘		23	23	17	17	17	23	12
② 人物の心情の変化についての考え			○	14	15	5	13	13	24	6	
教科全体					76	76	73	73	73	76	70

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内			県全体	
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡			
85	85	91	79	84	85	86	84	85	85	85	84	84	83	85	85
83	82	86	83	82	84	84	84	84	80	82	75	77	78	73	81
78	79	77	73	83	79	83	79	77	66	68	59	78	78	77	78
81	82	81	78	81	80	82	80	79	79	78	79	79	78	82	80
68	67	66	74	69	78	79	73	80	70	73	58	79	79	79	78
91	91	88	91	91	96	96	97	96	90	90	88	95	95	95	94
66	65	67	71	67	60	60	59	60	65	69	50	65	65	68	64
48	50	40	44	49	61	61	58	62	40	42	31	65	65	63	59
71	71	78	66	68	83	82	88	80	74	73	78	77	76	80	77
90	90	88	86	92	89	94	91	86	89	90	85	92	93	89	92
79	79	83	75	81	79	82	82	76	76	79	66	83	84	80	83
66	68	63	61	63	70	77	71	65	65	66	63	73	74	71	73
63	63	68	57	65	64	71	63	61	55	55	53	58	58	56	62
85	85	84	83	89	84	88	84	80	79	83	65	85	84	85	84
67	67	67	67	65	77	82	77	73	62	64	56	71	71	70	72
81	82	88	68	82	85	87	85	83	79	80	74	77	78	76	82
62	62	70	56	63	67	71	58	68	61	63	56	62	62	62	64
80	80	79	80	81	79	79	81	77	75	77	67	76	76	72	78
71	71	69	70	70	69	69	72	67	63	65	56	69	69	66	70
86	86	83	85	89	86	85	89	85	82	82	83	82	83	78	85
86	86	82	87	90	86	85	87	86	82	83	77	82	83	78	85
85	86	83	82	87	86	86	86	86	79	80	76	82	82	82	85
78	78	74	80	78	76	77	76	76	74	76	65	77	77	73	78
65	66	59	64	63	64	67	64	63	63	66	53	62	63	58	64
83	83	84	82	86	85	86	85	84	78	78	78	82	81	84	84
26	27	22	20	28	20	24	21	17	23	24	19	21	21	18	22
16	16	15	13	15	17	28	10	12	12	12	11	14	15	9	14
72	72	72	69	73	74	76	74	72	68	70	63	72	72	71	73

※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率 (%)	主な誤答例 (無答を含む) (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
3	62	条件1 【組み立てメモ】の内容をもとに書くことが不備 (条件2、3は不問) (14.5) 条件3 60字以上90字以内で書くことが不備 (条件1、2は不問) (8.0) 条件2 2文で書くことが不備 (条件1、3は不問) (5.0) 無答 (5.0) 文章として成り立っていない (2.5)
4	一②	72 エだから (21.0) アところが (2.0) イすると (1.5) 記号以外 (1.0) 無答 (0.5)
	二B	64 緑色 (5.0) ほご色 (3.5) 無答 (3.5) 落ち葉 (2.5) 緑色のもの (2.0) 緑色のバッタ (1.0) 木のみき (1.0) あれ地 (1.0) かつ色 (1.0) しげみ (0.5) かれ草 (0.5) 茶色 (0.5) 草の色 (0.5)
5	二B	64 白 (10.0) オレンジ (8.0) 無答 (3.5) 青 (2.0) 色以外 (1.5)
	三(2) ①	22 無答 (9.5) 空からだ、わたしのうちと、とても近いように見えました。 (7.0) それから、わたしたち、雲ひつじといっしょにあそびました。 (6.5) わたしははっとして、顔をあげました。 (6.0) 「じゃあ、あなたも、わたしのこと心配して、雲からきたのね。」 (4.5) わらい声は、空気をオレンジ色にそめるんですって。 (4.0) むらさきがにじんだ家もあります。 (4.0)
	三(2) ②	14 条件2 一文目は、①で選んだ情景を表す言葉から読み取れることを書くが不備 (条件1、3、4は満たしている) (24.0) 条件2と条件3 二文目は、主人公の気持ちがどのように変化したのかを書くが不備 (条件1、4は満たしている) (20.0) 無答 (15.0) 条件1 二文で書くが不備 (条件2、3、4は不問) (15.0) 条件3が不備 (条件1、2、4は満たしている) (4.5) 解答が途中 (条件1～4不問) (4.0)

エ 今後の指導について

○課題の見られた問題 ③

○出題のねらい

自分の考えと、それを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫して書くことができるかを判断する問題である。

出題の意図は、令和3年度の分析において、言葉による見方・考え方を働かせながら、情報を精査して、条件に合わせて文章を書くことに課題が見られたため、自分の考えを伝えるための文章を書くために組み立てメモの内容を基にして、条件に合わせて文を書く問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、条件1にある「【組み立てメモ】の内容をもとに書く」ことができていない解答が多かった。次いで、条件3「字数制限」、条件2「二文で書く」を満たしていない解答が多かった。

課題として、【野口さんのカード】、【組み立てメモ】、文章等、示された複数の情報を精査して考えを形成し、条件を満たして文章を書く力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、国語科の内容〔思考力、判断力、表現力等〕「B 書くこと」を指導する単元の中で、効果的に〔知識及び技能〕を育成するとともに、身に付けた〔知識及び技能〕を授業の中で生かせる言語活動の設定が必要である。そのためには、身に付けさせる資質・能力である「指導事項」をしっかりと理解した上で、「指導と評価の計画」を作成することが重要である。また、「書くこと」の言語活動をさせる際には、学年の系統性を踏まえて書く力の定着を図るとともに、言語感覚を養うために、推敲や共有をさせたり、字数等の条件を踏まえて文や文章を書かせたりするなど、言語活動の工夫が大切である。

指導例

単元で身に付けた知識及び技能を生かして、文や文章を書く指導 ～単元名「○○について報告しよう」（第5学年）～

【指導の流れ】5学年における「環境問題」を例とした単元の第6時

単元の中で身に付けた「書く力」を生かし、条件を基にした文を書かせる。

指導と評価の計画（評価規準は省略）

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○環境問題について報告するという学習の見通しをもつ。 ○図書やインターネット等を活用し、最も友達に報告したいことを選ぶ。	・伝えたいという思いを引き出すために、「環境サミット」における小学生のスピーチ内容を紹介する。	
2 ・ 3	○調べて分かったことや考えたことを整理する。 ○調べたことを基に、構成メモを書く。	・分かったことは、情報カードに整理させる。 ・「始め—中—終わり」で文章を構想し、構成メモにまとめさせる。	[思考・判断・表現] (カード・構成メモ) ・内容の確認
4	○文章を書く。	・原稿用紙への手書き、ICT端末での入力いずれかの方法で書かせる。	[知識・技能] (原稿用紙・文章データ)

		<ul style="list-style-type: none"> 構成メモを基に事実と感想、意見とを区別したり、引用したりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の確認
5	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を推敲する。 ○感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成や文末表現などの書き表し方に着目し、文章を整えさせる。 ICT 端末の共有機能を使い、互いに感想を伝え合わせる。(手書きの文章は写真撮影し、貼り付けて共有) 	<ul style="list-style-type: none"> [主体的に学習に取り組む態度] (共有画面・文章) 友達との関わりを通して、文章を見直している様子の確認
6	<ul style="list-style-type: none"> ○共通資料から環境を守るための工夫や努力について読み取り、文を書く。 ○単元を通して学んだことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員に共通資料、組み立てメモを与え、ワークシートに文を書かせる。 前時までに身に付けた知識及び技能を生かして書いているかを見取る。 	<ul style="list-style-type: none"> [思考・判断・表現] (ワークシート) 工夫や努力について条件を満たして書いていることの確認

共通資料

人の生活と地球上の空気

二酸化炭素を出さない燃料や仕組み

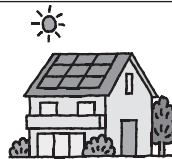
二酸化炭素を出さない自動車や発電しながら走る自動車。



自然の風の力を利用して、大きなプロペラの回転で電気をつくる風力発電。



屋根に光電池を取り付けて、電気をつくる太陽光発電。



化石燃料の使用を減らすことにもつながっている。

組み立てメモ

終わり	中		始め
自分の考え	考えを支える事例	考えの理由	自分の考え
力をすることが大切だ。自分たちにもできる、空気を汚さないための努力	二酸化炭素を出さない車や、自然の風の力で発電する仕組みがある。	二酸化炭素の影響で、空気が汚れている。	環境を守るためには、空気に及ぼす影響を少なくすることが大切だ。

ワークシート

環境を守るためには、空気に及ぼす影響を少なくすることが大切だ。

私がこのように考えた理由は、世界各地の都市では、二酸化炭素の影響で、空気が汚れていることを知ったからだ。現在、二酸化炭素を減らすために、さまざまな取組が行われている。

このように、自分たちにもできる、空気を汚さないための努力をすることが大切だ。(後略)

学習活動

環境を守るための工夫や努力が読み取れる共通資料を読み、字数や文の数等の条件を満たした文を書く。



「共通資料」と「組み立てメモ」を基にして書かれた文章が、ワークシート
の文章です。四角に入る文を考えましょう。



四角には、「組み立てメモ」の「中」の部分に書かれていることが入り
そうですね。「考えを支える事例」を「共通資料」からさがしてみよう。

四角の中に、二つの文で40字以上60字以内になるように書きましょう。

字数が決まっているから、必要な部分と必要のない部分をよく考えて書
こう。



ポイント

- ・ 単元の中で身に付けてきた知識及び技能を生かして、書く力が身に付いたかどうかを見取るために、単元の最後に全員に共通資料を与えて書かせる。
- ・ 条件として文の数や字数を制限することで、提示した複数の資料から情報を精査して書かせる。

○課題の見られた問題 〔5〕三(2)①②

○出題のねらい

情景描写の説明と本文の読み取りを根拠に情景描写の文を指摘し、場面の移り変わりとともに登場人物の気持ちを想像して、自分の考えをまとめることができるかを判断する問題である。

出題の意図は、言葉による見方・考え方を働かせながら、情景描写と場面の移り変わりとともに変化していく登場人物の気持ちを併せて想像し、読み取ったことを基に自分の考えをまとめる過程を重視した問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、(2)①は、無答や、情景の一文ではなく登場人物の行動を指摘する解答が多かった。(2)②は、無答や、情景を表す言葉を書き写すのみで条件を満たしていない解答、登場人物の気持ちがどのように変化したかを書く条件を満たしていない解答が多かった。

課題として、情景描写についての理解と、情景描写と併せて場面の移り変わりとともに変化していく登場人物の気持ちを読み取り、それを表現する力が不足していると考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、情景描写が含まれている叙述を的確に捉えさせることが大切である。さらに、捉えた情景描写を具体的に想像する際に、場面の移り変わりとともに変化していく登場人物の気持ちを併せて考えることができる力を育てる必要がある。そのためには、物語を読んで理解したことに基づいて、感じたことや考えたことを文章にまとめる言語活動の充実が大切である。

指導例

情景描写から登場人物の気持ちを想像する力を高める指導

～単元名「読んで感じたことや考えたことをまとめよう」(第4学年)～

【指導の流れ】 4 学年における「ごんぎつね」(作：新美南吉) 六場面

- 1 二つの教材文を比べることで、情景描写について知り、行動や会話等と関連付けて登場人物の気持ちを想像させる。

